

# 熱処理合金

T3	溶体化処理後冷間加工を行い、さらに <b>自然時効</b> させたもの。 (溶体化処理後、強さを増加させるため冷間加工を行い、さらに十分に安定な強度まで自然時効させたもの。)
T4	溶体化処理後、自然時効させたもの。 (溶体化処理後冷間加工を行わず、十分に安定な状態まで自然時効させたもの。 したがって、矯正してもその冷間加工の効果が小さいもの。)
T6	溶体化処理後 <b>人工時効</b> 硬化処理したもの。 (溶体化処理後積極的に冷間加工を行わず、人工時効硬化処理したもの。 したがって、矯正してもその冷間加工の効果が小さいもの。)
T651 T6511	溶体化処理後、 <b>残留応力</b> を除去し、さらに人工時効硬化処理したもの。 (溶体化処理後、永久ひずみを与える引張加工によって残留応力を除去し、さらに人工時効硬化処理したもの。)
T7	溶体化処理後安定化処理したもの。 (溶体化処理後特別な性質に調整するため、最大強さを得る人工時効硬化処理条件を超えて過剰時効処理したもの。)
T73	溶体化処理後過時効処理したもの。 (溶体化処理後耐応力腐食割れ性を最大にするため過時効処理したもの。)
T74	溶体化処理後過時効処理したもの。 (溶体化処理後耐応力腐食割れ性を調整するためT73とT76の中間の過時効処理したもの。)